

パブロ・ピカソ
 ワシリー・カンディンスキー
 エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー
 ジョルジュ・ブラック
 レイモン・デュシャン・ヴィヨン
 アンドレ・ドラク
 アンリ・マティス
 ジョルジュ・ルオー
 マルク・シャガール
 パウル・クレー
 ケーテ・コルヴィツ
 ジョック・ヴィヨン
 フェルナン・レジェ

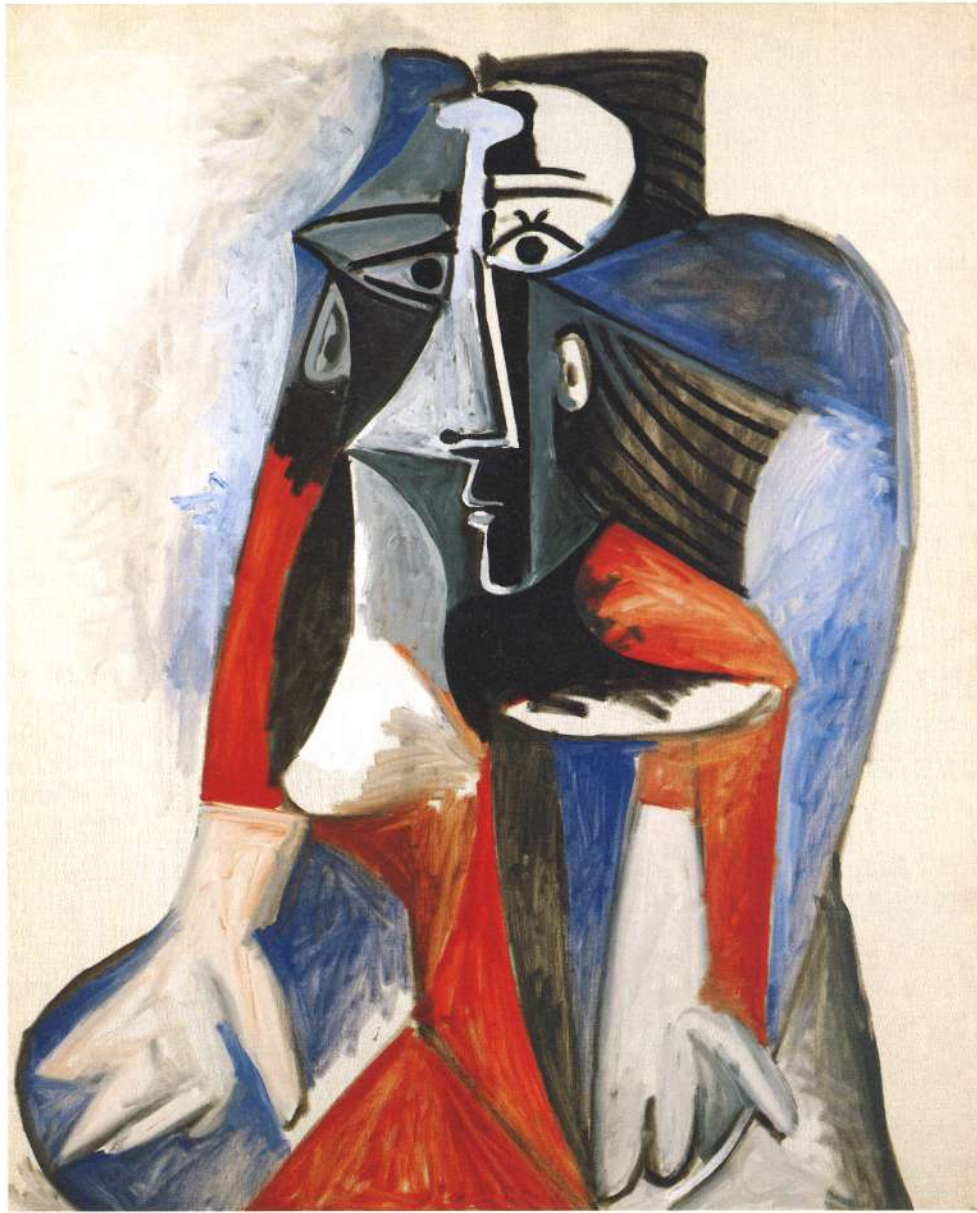
PICASSO

Pablo Picasso
 Wassily Kandinsky
 Ernst Ludwig Kirchner
 Georges Braque
 Raymond Duchamp-Villon
 André Derain
 Henri Matisse
 Georges Rouault
 Marc Chagall
 Paul Klee
 Käthe Kollwitz
 Jacques Villon
 Fernand Léger

and The 20th Century Art

Masterpieces from the Museum of Modern Art, Toyama

「北陸新幹線開業記念」富山県立近代美術館コレクションから
20世紀美術



ピカソと

マン・レイ
 マルセル・デュシャン
 ジョアン・ミロ
 マックス・エルンスト
 イヴ・タンギー
 ジャン・アルプ
 ポール・デルヴォー
 ジョセフ・コッネル
 テレット・オッペンハイム

ナウム・ガボ
 ジャン・デュビュッフェ
 アルベルト・ジャコメッティ
 ベン・ニコルソン
 パーヴァ・ヘップワース
 ビエール・スーラージュ
 ルーチョ・フォンタナ
 ハンス・ハルトマン
 フランシス・ベーコン
 アントニ・タピエス
 サム・フランシス
 ジャスパー・ジョーンズ
 ルイーズ・ネヴェルソン
 ロバート・ラウシェンバーグ
 アンディ・ウォーホル
 ジム・ダイン

アルマン
 チャック・クロース
 クリスト・アンド・ジャンヌ＝クロード
 ゲルハルト・リヒター
 マックス・ノイマン
 マリソール
 アンソニー・カロ
 ドナルド・ジャッド
 ジョセフ・コスース

Man Ray
 Marcel Duchamp
 Joan Miró
 Max Ernst
 Yves Tanguy
 Jean Arp
 Paul Delvaux
 Joseph Cornell
 Meret Oppenheim

Naum Gabo
 Jean Dubuffet
 Alberto Giacometti
 Ben Nicholson
 Barbara Hepworth
 Pierre Soulages
 Lucio Fontana
 Hans Hartung
 Francis Bacon
 Antoni Tàpies
 Sam Francis
 Jasper Johns
 Louise Nevelson
 Robert Rauschenberg
 Andy Warhol
 Jim Dine

Arman
 Chuck Close
 Christo and Jeanne-Claude
 Gerhard Richter
 Max Neumann
 Marisol
 Anthony Caro
 Donald Judd
 Joseph Kosuth

2015. 3. 21 sat → 5. 17 sun

| 開館時間 | 10:00~18:00 *金曜日は20:00まで *入館は閉館30分前まで | 休館日 | 5/4 をのぞく月曜日
 | 入館料 | 一般1,000円、高校・大学生800円、中学生以下無料
 *20名以上の団体は100円引 *障がい者手帳等持参の方は100円引、その介添者1名は無料
 | 主催 | 東京ステーションギャラリー [公益財団法人東日本鉄道文化財団] / 読売新聞社 / 美術館連絡協議会
 | 協賛 | ライオン / 清水建設 / 大日本印刷 / 損保ジャパン日本興亜 | 特別協力 | 富山県立近代美術館

パブロ・ピカソ《座る女》1960年 ©2015 - Succession Pablo Picasso - SPDA (JAPAN)

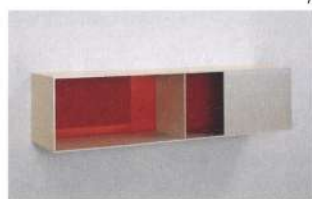
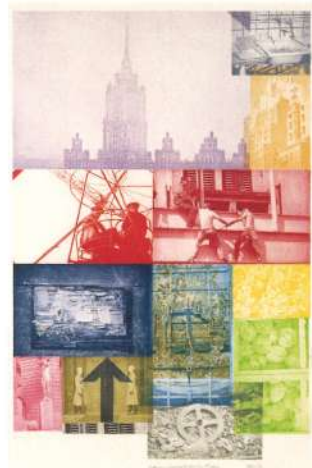
T 東京ステーションギャラリー
 TOKYO STATION GALLERY



PICASSO and The 20th Century Art

スペイン生まれのピカソが初めてフランスを訪れたのは、20世紀の幕があけたまさにそのときでした。やがて彼が推し進めたキュビズム運動は、それまでの芸術の表現のあり方を大きく揺るがし、その後の重要な芸術運動を引き起こすきっかけとなりました。それは例えば、人間の深層部を表そうとしたシュルレアリスムの運動や、二つの大戦を通して生まれた抽象絵画、戦後の消費社会を背景にアメリカで盛んになったポップアート、そしてさらに新しい潮流を予感させる表現などへと連なってきました。そうした流れと、躊躇なく次々とスタイルを変えたピカソの革新性とをあわせ見たとき、私たちは20世紀美術の豊かさと魅力に改めて気づかされます。

本展は、北陸新幹線の開業を記念し、国内外美術の充実したコレクションで知られる富山県立近代美術館の所蔵作品を中心に、ピカソとともに歩み始めたといってもいい20世紀美術の流れを概観するものです。9点のピカソ作品をはじめ、シャガール、エルンスト、ミロ、マン・レイ、ベーコン、ジャスパー・ジョーンズ、ウォーホル、リヒターなど、20世紀を代表する47作家による約100点の名品を紹介します。



〈関連イベント〉

● スペシャルトーク

富山県立近代美術館の雪山行二館長に、同美術館のコレクションの魅力について語っていただきます

4/28[火] 18:30～20:00 3F 展示室にて
聴講無料/先着40名
申込方法…3月21日以降の開館時間内に1F受付または電話(03-3212-2485)でお申込み下さい(定員になり次第受付終了)
*閉館後のイベントにつき観覧はご覧いただけません

● 親子で参加する朝の鑑賞会

開館前の展示室でガイドとともに作品の魅力を親子で探ります

4/11[土]、4/25[土] 9:00～(約1時間)
参加無料(要別途入館料)、5組10名
対象=小学校新2・3年生の児童とその保護者
申込方法=3月21日以降の開館時間内に1F受付または電話(03-3212-2485)でお申込み下さい(定員になり次第受付終了)
*鑑賞会終了後、観覧会をご覧いただけます

● ギャラリートーク

学芸員による観覧会解説

4/3[金]、4/17[金] 15:00～(約30分)
3F 展示室集合
参加無料(要別途入館料)
*混雑時には中止することがあります

● レンガタッチ&トーク

煉瓦が特徴的な当館のたてもの解説

4/10[金]、4/24[金] 18:00～(約20分)
1F エントランス集合
参加無料(要別途入館料)
*当日1F受付でお申込み下さい

● 東京駅周辺美術館特別企画

「学生無料ウィーク」を実施

3/17～31(当館は3/21[土・祝]～31[火])の期間中、ブリヂストン美術館、出光美術館、三井記念美術館、三菱一号館美術館および当館で、学生の方は入館料無料で観覧会がご覧いただけます

〈次回以降の観覧会〉

本展につき下記の北陸新幹線開業記念展を開催予定です

没後30年 鴨居玲展
2015年5月30日[土]～7月20日[月・祝]

九谷焼の系譜と展開
8月1日[土]～9月6日[日]

〒100-0005 千代田区丸の内 1-9-1
tel.03-3212-2485 <http://www.ejrcr.or.jp/gallery/>
交通: JR 東京駅 丸の内北口 改札前
(東京駅丸の内赤煉瓦駅舎内)



東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY



1. パブロ・ピカソ《黄色い背景の女》1937年 東京ステーションギャラリー蔵 ©2015 - Succession Pablo Picasso - SPDA (JAPAN)
2. パブロ・ピカソ《肘かけ椅子の女》1923年 ©2015 - Succession Pablo Picasso - SPDA (JAPAN)
3. ジョアン・ミロ《パイプを吸う男》1925年 © Successió Miró-Adagp, Paris & JASPAR, Tokyo, 2015 E1422
4. ワシリー・カンディンスキー 散文詩画集『響き』より《万聖節》1911年
5. マックス・エルンスト《森と太陽》1927年 © ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2015 E1422
6. マルク・シャガール《山羊を抱く男》1924-25年頃 © ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2015, Chagall © E1422
7. ロバート・ラウシェンバーグ《ソヴェイト/アメリカン・アレー》1988-89年 © Estate of Robert Rauschenberg / VAGA, New York & JASPAR, Tokyo, 2015 E1422
8. マン・レイ《桃》1972年 © MAN RAY TRUST / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2015 E1422
9. ドナルド・ジャッド《無題》1991年 © Judd Foundation / VAGA, N.Y. / JASPAR, Tokyo, 2015 E1422

*1を除いてすべて富山県立近代美術館蔵